



城川町「温泉保養地中核施設」17年9月完成予定

新生西予市は 大型予算が白押し



野村町「乙亥の里構想」17年3月完成予定



大改装が行われる三瓶町「ホテル朝屋」



野村町「エコセンター」建設予定地



施設が充実する明浜町「シーサイド・サンパーク」



リレー議員紹介

小異を捨て

大同につく

岡田 周三

西予市初代議員に当選させて頂きまして誠にありがとうございました。第一回の定例会を終えて議

会運営の違いに少し戸惑っています。西予市誕生においては、合併協議会において五町の各委員さん達の「小異を捨て大同につく」の精神があつてこそ、モデル的な合併が出来たと思います。しかしながら16年度予算編成におきましては早くも財政難と言われております。この様な時こそ違った環境で育った五町の市民が、おたがいの違いを認め合い、尊重し合い我慢し合つてこそ、この難局を突破出来るのではないかと



環境と歴史と文化の町づくり

坂本 隆重

明るい地域作りを目指し、自然を大事にした環境と歴史と文化の町づく

思います。今後は、行政と議会が協力して財政改革に取り組み、活力ある西予市を作っていく様に努力したいと思っています。

り、活力のある農林水産業の振興に努め、地産地消と食の安全安心を目標に、地域に根ざした特産品の開発と、地場産業の育成に努める。また高度育成に努める。一方高度情報化社会に対応できる環境整備と人づくりに努める。福祉の面では、地域で支える福祉社会実現のため「あんしんの家（多機能デイサービス）」づくり、医療においては、西予市の市立病院の充実を図ると共に、救急医療の充実、最先端技術を導入した医療機器、検査機器の導入により、地域の医療との情報交換を行い「地域医療完結型」の医療体制の確立を図る。尚、高速道路が宇和まで延伸したことで、物流の構造が変わったことも重視すべきである。

今、抱負を語る



先ず雇用対策を

二宮 元

西予市誕生後、初めての定例議会も終わり、本予算が成立し、本格的なスタートとなり、それぞれ各町からの提案されていた、課題や要望が解消されていくものと思っております。しかしながら複雑、多様化する社会情勢の中で、特に周辺地域では、少子高齢化が加速しているし、公共事業の大幅な削減や、野村町では現存していた企業が次々に撤退しており、働く場所が激減しており、かつて無い深刻な問題となっております。安心して生活が出来る職場作りこそ

最も大きな課題とっております。企業誘致は今まで繰り返し進めてきましたが田舎にはきてくれません。視点を変え逆発想で田舎だからこそ、必要な企業もあるのでは無いか。そして農家は高齢者が増えており、生産力も落ち、荒廃する農地も増加しております。農地の有効活用をどう進めればよいのか、いろいろ課題は山積しておりますが、特に周辺地域の隅々まで、光の届くようパイプ役を果たして参りたいと思っております。